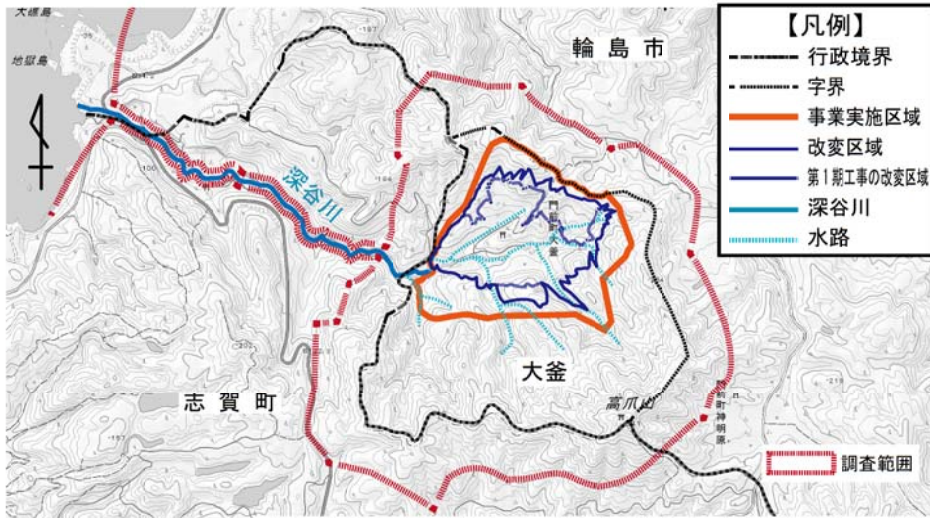


門前クリーンパークの建設は、2018年12月に着工し、半年が経過しました。

現在、環境影響評価書にしたがって、第1期工事期間中の環境調査及び環境保全措置を実施しています。なお、植物、動物及び生態系の調査を実施するにあたり、専門家からの指導・助言を受けております。

環境調査の結果については事後調査報告書に記載のとおり、1年間調査した結果をとりまとめ、今後、中間報告として公表してまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



国土地理院の電子地図（タイル）に凡例に示す情報を追記して掲載



○水質汚濁：深谷川の水質調査
(濁度・浮遊粒子状物質)



○植物：個体の移植・移植個体の生育状況の確認



○植物・動物・生態系：下流河川に生育する動植物種の生息状況調査



○動物：希少猛禽類の繁殖状況調査



○動物：夜間の囀り確認調査・赤外線センサーカメラ調査
(ミゾゴイ・フクロウ)



○動物：潮間帯の生物の生息・生育状況調査



○植物・動物・生態系：旧水田を湿地環境として整備し、動植物の生息状況を調査
(旧水田にてカエルの卵塊・オタマジャクシを確認)



○生態系：フクロウ巣箱の設置・利用状況調査
(フクロウ1ペアの利用を確認)

○現場調査の工程（2018年12月～2019年12月）

調査項目	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
準備	■												
水質汚濁の状況		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
植物													
移植等個体の生育状況													
隣接地に生育する重要種の生育状況													
下流河川に生育する重要種の生育状況													
旧水田の維持管理後の植生の状況													
湿性植物の苗木の育成等													
湿地環境での保全対象種の環境利用状況													
ミゾゴイ、サンコウチョウ繁殖状況													
動物													
希少猛禽類繁殖状況													
変更区域隣接地に生息する重要種の生息状況													
下流河川に生息する重要種の生息状況													
潮間帯の生物の生息・生育状況													
生態系													
フクロウの営巣状況・餌資源の状況													
湿地環境、流水域の維持管理後の動植物の状況													
下流河川に生育・生息する動植物種													

注：実施時期は天候等の影響により前後する場合があります。